

令和3年度 都城市立川東小学校 学校評価報告書

( 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する )

学校経営ビジョン		3C (Chance, Challenge, Change) の精神で教職員が良いと思うことを進んで実践し、児童が毎日元気よく登校し、生き生きとした学校生活が送れるような学校づくりに努め、児童や保護者、地域に信頼される学校を創造する。				
重点目標	評価指標	○取組の成果 ●課題・改善策	自己	関係	学校関係者評価コメント	次年度に向けて
確かな学力の向上	1 「分かる・できる」授業が工夫され、児童が主体的に学習に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度は、読解力・表現力の向上を目指して校内研究を進めた。研究授業等を通して研究を深めることができた。</li> <li>○ ICTの効果的な活用も早急な課題として出てきたため、各学級で工夫して様々な実践ができた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校評価、保護者アンケートによると、84%の児童が、授業の分かりやすさと楽しさを感じていて評価できると考える。</li> <li>○ 新しいアイテムを使った授業を拝見し、先生方の工夫に感心した。教材研究も大変だと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読解力・表現力の向上を目指した授業を目指して校内研究を進め、日々の授業で実践する。</li> </ul>
	2 読書活動と音声言語活動の充実により、児童の読解力と表現力が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員会が中心となり、図書館サポーターと連携してイベントを行い、貸し出し冊数が一学期より増加した。貸出冊数は、8,623冊(11月18日現在)</li> <li>○ 自分で目標を立て読書を行うブックウォークに取り組み、目標を達成している子どもたちが多かった。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貸し出し冊数が目標に段々近づいてきていると思う。</li> <li>○ 多様な内容を取り入れて知識として吸収してほしい。家庭に帰ると単調なゲームについてはまってしまう傾向にあると思われる。</li> <li>○ 目標達成には、短い期間で区切ったチェックと助言が有効であると考えている。</li> <li>○ 高学年になるほど図書の話をしなくなってしまうし、借りていることも少ない。好き嫌いではっきり分かれてしまうので、もっと図書に触れる機会があるといいと思う。</li> <li>○ 図書室が子どもたちに利用しやすいように、分かりやすく整理されているなあと思う。</li> <li>○ 本を読むことが日常になると、読解力も自然に身に付いて、勉強も理解しやすくなり楽しくなるのではないかと思う。読書が苦手な子どもさんも読むことの楽しさが分かってくれるようになってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館サポーターと連携し、本を読みたくなるような動機付けや環境づくりを推進する。</li> </ul>
	3 個に応じた指導の充実により、基礎学力が定着している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝学習や習熟タイムの時間で個別に指導することで少しずつ定着が図られてきた。</li> <li>○ 個人差はあるが、学習習慣は身につけてきている。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「個人差」に対する対応が仕組みでできると良いと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝学習や習熟タイムの時間に個別で指導することで、学習内容の定着を図る。</li> <li>○ ICT等を活用し、一人一人の学習状況に応じた指導を充実する。</li> </ul>
豊かな心の育成	1 認め合い、支え合う仲間づくりができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月、心のアンケートを実施し、児童の心配なこと、困っていること等を共通理解し、その解決に努めた。</li> <li>● いじめ案件は1件あるが、継続して指導中である。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭にあっても、多忙な中での状況を察して、子ども達もストレスを置き換えた反応が出てくると思われる。</li> <li>○ 心中お察しいたします。がんばっていただきたい。</li> <li>○ いじめが集団であるか？そこを知りたい。</li> <li>○ 子どもたちの心に寄り添い解決に努めていただき、ありがたい。いじめがなくなることを願っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月、心のアンケートを実施し、気がかりな児童については全職員で共通理解し、継続的な見守りと指導・支援を行う。</li> </ul>

豊かな心の育成	2 心の教育の充実を通して、児童に規範意識と人権感覚が育成されている。	● あいさつ、廊下歩行、履き物そろえの3つの柱については指導を続けてきたが、十分な成果を挙げることができなかった。	2	2	○ 校外であっても、元気にあいさつができて素晴らしいと思う（下校時）。 ○ あいさつが良くできる子が多くなっている。気持ちの良いあいさつができる。 ○ 学校の外でのあいさつができないなと思います。 ○ 持続指導による習慣化が大切である。	○ 生活指導週間に、あいさつ、廊下歩行、履き物そろえ等について重点的に指導する。
	3 児童に対人関係調整能力やコミュニケーション能力が育成されている。	● 前半はコロナ禍で、行事やクラブ活動等、縦割り清掃など中止や計画を変更したものが多く、例年ほど児童の関わりが十分でなかった。	2	3	○ コロナ禍で活動等ができなかったのは、しかたがない！ ○ 少しばかり、放課後に友だちと公園などに行って遊んでいる様子が見られる。友だち同士での思いっきた遊びも大切だと思い、素晴らしい光景だった。	○ 感染状況を考慮しながら、学校行事、委員会活動、クラブ活動、児童集会等の活動で、学級、学年、全校での児童の関わり合いを計画する。
健康・体力の向上	1 児童一人一人の基礎体力が向上している。	○ 体力テストの結果より、「柔軟性」については結果が現れていた。 ● 「敏捷性」については努力を要する結果であったので、改善が必要である。	2	2	○ 公園（外）で遊んでいる子も少しずつ多くなってきた。 ○ 学校以外で外遊びする、できる場所がないなどと思う。家でも外遊びすることが減ったなどと思う。	○ 体力テストで本校の課題となっている「柔軟性」や「敏しょう性」等の力を高めるために、体育科学習での「サーキットトレーニング」「朝のトレーニング」等を継続して取り入れ、強化を図る。
	2 自らの健康に関心を持ち、病気やけがの予防、バランスのとれた食事を摂ることに努めている。	○ 「お弁当の日」は、家族で楽しく取り組んでいた。学年にあったレベルでお弁当作りができるさらによい。 ● 手洗い・うがいについてはよくできていたが、ハンカチをもってきていない児童が多く目立っていた。インフルエンザの流行も考えて、指導の徹底が必要である。	3	3	○ お弁当を写真に撮って展示しているクラスがあり、どれもおいしそうで作る方の愛情を感じた。 ○ ハンカチの忘れ物については、家庭での声かけも大事だと思う。 ○ アンケート結果が82%であることを踏まえ、目標達成を目指してほしい。	○ 給食指導や食育、「お弁当の日」の取組を通して、望ましい食習慣の形成に努める。 ○ 「視力の低下」「身だしなみ」等、学校の課題を、学校保健委員会を通して解決に努める。
	3 安全教育や防災教育を通して、児童の安全意識や危機回避能力を高めている。	○ 避難訓練や交通安全教室、日頃の立番指導を通して、児童の危機管理意識を高めることができた。 ○ 登校中に、児童と自転車との接触事故が1件あったが、早急に対応できた。	○ 安全教育については、常日頃からの繰り返し指導が重要である。皆、指導通りに大変良くできていると思う。 ○ 下校時は、見ている限りでは、交通ルールを守って帰っていた。 ○ 児童の危機管理を高めることは、とても良かったと思う。 ○ 低学年の子どもが、自転車で速いスピードで止まれを止まらずに走っているのを、複数回、目にした。 ○ 自転車の乗り方で、ルールを守れていない子どもがいます。	2	2	○ 計画的に避難訓練や交通安全教室等を行い、児童の危機管理意識を更に高めていく。

家庭・地域との連携強化	1 HPや学校だより、参観日で、保護者や地域の方が学校の様子をよく分かっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度は9月参観日が中止、11月川東っ子発表会が日曜参観になった。出席率はどの学級も50%を超えた。</li> <li>○ 保護者アンケートでは、「子ども達の様子や学校の取組をよく分かるように伝えている。」と感じている保護者は92%だった。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の取組について（アンケート）の結果は、全項目高い評価を得ていると思う。</li> <li>○ 懇談会に出席する保護者が少ない。</li> <li>○ 父母ともに働く状況が多くなる中で、学校に関心を向けている方は多いと思う。</li> <li>○ 毎月、学校便りを届けてもらい、ありがたい。今年度は授業のお手伝いを2学期の参観日にもしたが、一学期の様子はお便りで知った。学校内部でちゃんとイベントをしていて安心した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参観日の出席率が50%以上になるように、参観授業や学級懇談会の内容を工夫する。</li> <li>○ 定期的なHPの更新や月1回以上の学校便りで学校の様子を知らせる。</li> </ul>
	2 学校運営協議会と地域学校協働本部の連携と協働が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 7月に4年生による乙戸神社付近の清掃を実施した。</li> <li>○ 1学期に予定していた5・6年生の地域貢献活動はコロナで延期になったが、11月に実施できた。地域の方の協力も得られた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4年生の奉仕作業は知らなかった。5・6年生の奉仕作業は見学した。とてもまじめに活動していた。</li> <li>○ 5・6年生はもとより、4年生でも出来ることは多くあると考えられるので、今後においてもどしどし持続を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域貢献活動を計画的に進め、地域との連携を深める。</li> <li>○ 学校支援活動や地域貢献活動について積極的に発信し、学校運営協議会のねらいや取組についての周知を図る。</li> </ul>
	3 地域の人材や施設等を利用した学習が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域人財については、ミシンボランティアやキャリア教育等で活用できた。</li> <li>○ 秋の遠足では、市内や宮崎市の施設を利用した学習が実施できた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ミシンボランティアで子ども達の製作のお手伝いが少しでもできて良かったと思う。子ども達も熱心に聞いてくるので教え甲斐がある。できあがりを見たかった。</li> <li>○ 地域のつながりが大事だと思う。</li> <li>○ 地域の方には感謝している。</li> <li>○ 地域人財も多種多様の方へ、もっと依頼したいと考えるが難しいだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科の見直しをもちながら、各担任と連携して、地域の人材や資源、教材を行かした学習活動の計画を立て、実践していく。</li> </ul>
学校の組織力の向上	1 業務改善により、職員がワークライフバランスのとれた働き方ができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1か月の時間外勤務が、45時間を超える職員は半数近くいる。全職員の平均で40時間余りである。</li> <li>● 教科担任制の推進はできたが、業務改善までには至らなかった。</li> </ul>	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 働き方改革の中での職場状況は、益々煩雑な仕事もある中で、先生方の健康面への配慮と自覚も大切だと考える。</li> <li>○ 1クラスに担任、副担任が配置できると、役割分担ができて、先生1人の負担も減るのではないか。</li> <li>○ 学校内だけでは解決できない部分もある。引き続き関係各所との連携を通して改善へ向かっていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務内容の見直し、会議の精選・時間管理、教材研究の時間の確保等を行い、業務の改善を押し進める。</li> </ul>
	2 社会の要請を敏感にとらえ、教育活動の充実に向けて、授業力や生徒指導力を高めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習指導要領に沿った学習が進められているが、年間指導計画の作成や見直しを通して、再確認する必要がある。</li> <li>● 全校的に落ち着いた雰囲気での授業を進められているが、複数の教員で協力して授業を進めている学級がある。</li> </ul>	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会の要請に応えるための研修（GIGAスクール、SDG's等）を進める。</li> <li>○ 一部教科担任制の推進により、授業及び生徒指導の課題へ迅速に対応していく体制を整える。</li> </ul>
	3 職員がチームとなって情報を共有し合い、問題等への迅速・誠実・的確な対応ができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭からの相談や生徒指導上の問題、特別支援教育に関する事例など、各担当と複数の教員、管理職が一体となって解決にあたることができた。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ とても大切な評価項目が「自己評価4」であることをうれしく思う。引き続き「チーム」を大切にして頑張りたい。</li> <li>○ チームワークが良いことが大事である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級担任と各部長、生徒指導主事、教務主任を中心としたミドルリーダー、さらに管理職がコミュニケーションをとり、情報の伝達と共有に努め、速やかな対応を進めていく。</li> </ul>